

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
重症心身障害児 放課後等デイサービスめろん		2026年3月28日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2		車いすやバギー使用のお子様が多く、活動スペースが手狭に感じることがある。レイアウトの工夫を継続して検討していく
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	2	3		常勤看護師が不在のため、医療的ケア児への対応が十分にできていない。早急な人員確保が必要
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	車いすが通りやすい動線を意識してレイアウトを組んでいる	視覚的な構造化や情報伝達への配慮をさらに充実させる必要がある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	2	毎日清掃を実施し清潔な環境を保つよう努めている	室温・湿度管理を記録する仕組みが整っていない。温湿度計の設置と管理記録の徹底が必要
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	必要に応じてパーテーション等を活用し個別の空間を確保している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	3		非常勤職員がPDCAサイクルに参画できる機会が少ない。全職員が参加できる仕組みを整える必要がある
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2	保護者向けアンケートを実施し結果を職員間で共有している	アンケート結果を具体的な業務改善につなげる仕組みがまだ不十分。改善策の立案と実施を徹底する
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	日常的に相談しやすい環境を意識し、職員の意見を拾い上げるよう努めている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	×	×		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2	オンライン研修を活用して研修機会を確保している	非常勤職員の研修参加機会が少ない。全職員が受講できる研修体制を整える必要がある
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	2	支援プログラムを作成し事業所内で共有している	保護者へのさらなる周知と内容の充実が必要。定期的な見直しの体制を整える
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	1	入所時のアセスメントを丁寧に行い、保護者のニーズを確認した上で計画を作成している	アセスメントの精度をさらに高めるための研修や手順の整備が必要
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	支援計画作成時に関わるスタッフで情報共有を行っている	全スタッフが計画作成に関わる機会をさらに増やし、共通理解を深める
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	個別支援計画を全職員に配布し、内容の確認を行っている	計画内容と実際の支援が一致しているか定期的に照合する仕組みが必要
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2		フォーマルなアセスメントツールの活用が不十分。導入に向けた研修を検討する
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	3	本人支援を中心に計画を立てている	家族支援・移行支援・地域支援の観点か計画に十分反映されていない。ガイドラインを再確認し改善する
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	活動立案はスタッフ間で事前に話し合い、非常勤スタッフにも協力してもらっている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	季節の行事や感覚遊び、制作活動など多様なプログラムを取り入れている	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	こどもの状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせて支援している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	支援開始前に打合せを行い、役割分担と支援内容を確認している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	支援後に気づいた点を共有する時間を設けている	非常勤職員も含めた振り返りの機会を定期的に設ける仕組みが必要
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	日々の支援記録を徹底し、支援の振り返りに活用している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	3		定期的なモニタリングの実施が不十分。計画的な見直しスケジュールを設ける必要がある
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1	散歩や外出活動、感覚遊び、制作活動など複数の活動を組み合わせて支援している	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	2	こどもの意思表示を尊重し、選択できる場면을意識的に作るよう努めている	重症心身障害のあるこどもの意思表示の読み取り精度を高めるための研修が必要
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	3		サービス担当者会議へこどもをよく理解したスタッフが参加できる体制が整っていない。参加体制を整備する
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	3		連携体制を組織的に整備する必要がある。関係機関との連絡ルールを明確化する
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	連携が取れている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	4		就学前施設との情報共有の機会がほとんどない。引継ぎの方法を関係機関と検討する必要がある
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	4		卒業後の移行先への情報提供の仕組みが整っていない。関係機関との連携強化が必要
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		地域の児童発達支援センターとの連携が不足している。スーパーバイズを受ける機会を検討する
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		地域の他のこどもとの活動機会がほとんどない。まずは施設内の支援を安定させながら段階的に検討する
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	5		協議会への参加が全くできていない。参加体制を整え、地域の情報収集・発信につなげる
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	2	連絡帳を通じて日常的にこどもの様子を保護者と共有している	連絡帳のコメントを子ども一人ひとりに合わせた個別の内容にする取り組みが不十分
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	5		家族支援プログラムの実施が全くできていない。ペアレント・トレーニング等の導入に向けて検討する
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	2	契約時に運営規程や利用者負担について説明を行っている	説明内容の徹底と書面での確認をさらに強化する必要がある
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1	契約時や計画作成時に保護者・こどもの意向を確認するよう努めている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	1		説明の質をさらに高め、保護者が内容を十分理解できるよう工夫する
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	2	連絡帳・電話を通じていつでも相談できる体制を整えている	定期的な面談の機会が少ない。実施体制を整え保護者が相談しやすい環境をつくる

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	5		保護者会やきょうだい交流の機会が全く設けられていない。開催方法を具体的に検討する
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	2		迅速な対応ができるよう対応マニュアルを整備し、体制をさらに強化する
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	3	連絡帳を通じた日常的な情報提供を行っている	通信やSNSの定期的な発信が途絶えている。担当者を決め再開に向けた体制を整える
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	1	個人情報の取り扱いについて職員間で共有し適切に管理している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	2	こどもの表情や反応を観察し、意思疎通に配慮した関わりを行っている	ケア実施前に声掛けをせず進めてしまうことがある。全スタッフで手順を徹底する必要がある
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		地域住民を招いたイベント等の実施ができていない。まずは実施可能な形を検討する
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	4		各種マニュアルが整備されておらず避難訓練も定期的の実施できていない。早急に整備・実施する
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	1	4	定期的な避難訓練を行っている	BCPが策定されておらず、早急に策定する
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	入所前のヒアリングで服薬・予防接種・てんかん等の状況を確認している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	契約時に食物アレルギーの確認を行い、医師の指示に基づいて対応している	対応マニュアルが整備されていない。緊急時対応を含めたマニュアルを整備する
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	4		安全計画が作成されておらず、安全管理体制の整備が急務。早急に計画を策定する
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	4		安全計画が未作成のため家族への周知も行えていない。計画策定後、速やかに保護者へ周知する
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	2	ヒヤリハットの情報を職員間で共有し再発防止策を話し合う機会を設けている	共有の仕組みを組織的に整備し、記録・分析を継続的に行える体制をつくる
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	3		虐待防止に関する研修機会が不足している。定期的な研修実施体制を整える
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	3		身体拘束に関する組織的な決定プロセスが整っていない。事業所として方針を定め保護者へ事前説明する